

# イベントレポート 第2回 IPA国際ワークショップ及び総会

開催結果報告 Part 1

更新日 2009.3.5



開催日：2008年12月11日(木) - 12日(金)  
開催地：アメリカ合衆国ルイジアナ州ニューオーリンズ  
会場：ヒルトン・ニューオーリンズ・リバーサイド  
主催：IPA実行委員会及び事務局  
出席者：7ヵ国 46名

- プログラム：
- IPA総会(臨時)と理事会
  - 圧入工学等の特別プレゼンテーション
  - 第1回IPA研究助成賞 研究成果発表
  - 第2回IPA研究助成賞 授賞式典と研究提案プレゼンテーション
  - 圧入施工現場見学会
  - レセプションと晩餐会(交流会)



12月11～12日の2日間、米国ルイジアナ州ニューオーリンズにて第2回IPA国際ワークショップが開催されました。世界7カ国より46名が参加し、IPA総会(臨時)及び理事会、研究助成賞の授賞式典や成果報告、圧入工学のプレゼンテーション、さらに圧入施工現場の見学会など、IPAならではの充実したプログラムが実施され、有意義な討論や情報交換、会員同士の交流などが行われました。2007年の創設から会員数が460名に達したこともあり、法人会員からの後援や個人会員のツアー参加など、運営方法でも新しい試みがなされました。また、ニューオーリンズはハリケーン・カトリーナの被災地であり、災害復旧や洪水対策工事の発注者である米国陸軍工兵隊(USACE)からも特別参加を得ました。さらに、プレゼンテーションでは5名の若手研究者が登壇し、圧入工学が次代の研究者らにも浸透しつつあることが強く印象づけられました。なお、第3回IPA国際ワークショップの開催は、2010年10月頃を予定しています。

## IPA総会(臨時)及び理事会



岡村 甫 名誉会員による  
開会挨拶



レオ・ヒューバート・ジュニア  
理事による歓迎の挨拶



北村 精男 名誉会長による  
圧入技術の最新動向

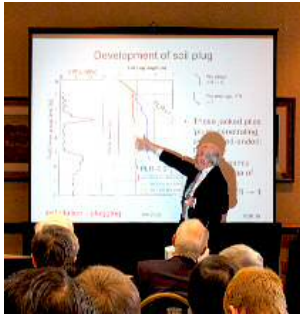


奥村 忠彦 事務局長による  
司会進行

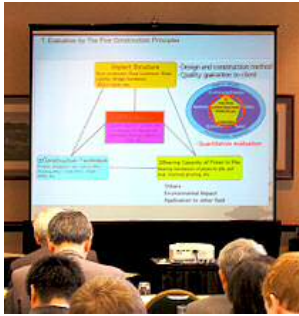


IPA総会(臨時)の開催風景

圧入工学プレゼンテーション



マルコム・ボルトン教授 (IPA会長)  
「圧入工学研究2008」



多賀谷 宏三 名誉教授 (IPA副会長)  
「日本における圧入技術の研究活動」



石原 行博 氏 (技研製作所)  
「PPTデータを利用した地盤情報の提供」



尾川 七瀬 氏 (技研製作所)  
「圧入鋼管杭の管内土の挙動」



ポール・シェブリー氏  
(ケンブリッジ大学)  
「鋼管杭圧入時の閉塞について」

特別プレゼンテーション



ディーン・アーノルド氏 (米国陸軍工兵隊)  
「最新のハリケーン被害軽減システム」

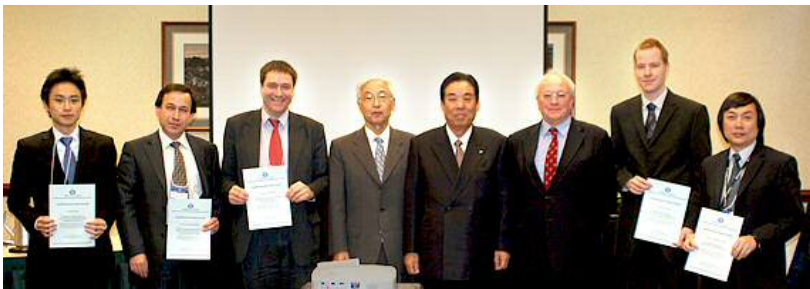


スタンレー・グリーン氏 (米国陸軍工兵隊)  
「ルイジアナ南東部都市洪水対策計画」



マイケル・カーター氏 (技研アメリカ)  
「米国における圧入工法の最新技術・施工事例」

第2回IPA研究助成賞 授賞式典と研究提案プレゼンテーション



圧入施工現場見学会 2008年12月12日(金)



工事目的: 共同溝敷設 (洪水対策壁構築の一環)  
 発注者: 米国陸軍工兵隊  
 元請者: ケージュン・コンストラクターズ  
 圧入機種: サイレントパイラー-ECO900  
 圧入杭材: Z形鋼矢板PZ27, L=42ft (12.8m)  
 施工枚数: N=1200組 (2枚1組、圧入・引抜)  
 工期: 2008年10月~2009年末



ニューオーリンズは2005年8月、ハリケーン・カトリナの来襲を受け、被害総額約960億ドル(約9兆4千億円)と言われる未曾有の大災害に見舞われました。ニューオーリンズ全土の8割が水没し、死者・行方不明者も2500名という深刻な事態は、災害から3年たった今でも大きな爪痕を残しています。

その被災地の復旧、街の再興に、圧入工法は早くから貢献してきました。今回のワークショップでは、ハービー運河洪水対策壁構築の一環で行われる共同溝敷設現場を訪ね、圧入施工の実際を確かめる現場見学会が催されました。理論と実践を融合するIPAならではの企画です。圧入工法と他工法の両現場をタイミング良く見学することができ、参加者らは改めて圧入の優位性を体感されたようでした。

ミシシッピ川の水上に集う全出席者 2008年12月12日(金)



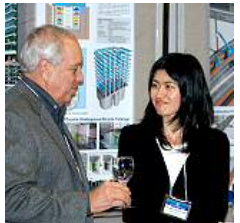
ヒルトン・ニューオーリンズ・リバーサイドの歩道デッキにて

開催結果報告 Part 3

歓迎レセプション(ヒルトン・ニューオリンズ・リバーサイド) 2008年12月10日(水)



ワークショップ前夜、各国より参集した参加者をもてなすべく、歓迎レセプションが開催されました。初対面の会員はお互いに自己紹介、顔馴染みの会員は近況報告や情報交換をしあい、会場は和やかなひと時に包まれました。



晩餐会(アントワーズ・レストラン / フレンチクォーター地区) 2008年12月11日(木)



ワークショップ初日のもう一つのビッグイベント、それはIPA主催の晩餐会です。ニューオリンズ屈指の観光地フレンチクォーター地区、ジャズ音楽に満ちたバーボンストリートのそばで170年近い歴史を刻むアントワーズ・レストラン(1840年創業)に、出席者らは招待されました。当地の伝統的建築様式であるアイアンレースのバルコニーが優雅で、ここのケージュン料理は多くの有名人にも愛されてきました。

この日振る舞われたガンボスープなど、数々のアントワーズ名物料理はどれも絶品で、大いに舌鼓を打っていました。食事を楽しみつつも、あちこちのテーブルで、圧入に関する理解をさらに深めあう姿が印象的でした。



フレンチクォーター  
ならではの外観

